

●「告白」の旅、イタリア（3月19日～28日） ●パリでのコンサート

お元気でいらっしゃいますか？

3月のイタリアはミモザがとても美しく、先週のパリは木蓮が見事でした。今、ハンブルクでは桜が満開です。美しい季節の中、イタリア旅行、パリでのコンサートともども、大変祝された時となりました。皆さんのお祈り、心から感謝いたします！そして、私にとって、とても意味深いスピリチュアル・ジャーニーとなりました。ここにそのことをお分かちさせていただきます。

●「告白」の旅、イタリア（3月19日～28日）



日本、アメリカ、ヨーロッパから、クリスチャン9名、ノンクリスチャン9名、合わせて18名の参加者と共に、イタリアの各地を回りました。今回は、見る者を圧巻させるイタリアの町々を巡りながら、ローマ帝国とルネッサンス文化、そしてキリスト教ゆかりの建築物や美術作品に触れながら、「告白」の旅にしたいと祈り臨んだ旅行でした。（写真は壮大なミラノの大聖堂）

最近、「ミッション・宣教の声」の機関誌のために「血潮以外の何ものも」という賛美歌について書かせていただきました

たが、執筆にあたって、イエス様の血潮の意味についてパウロが詳しく述べているヘブル書を、時間をかけて読みました。主が流された血潮の意味とその偉大なみかに、今まで以上に感動し、感謝を捧げる時となりました。同時に、同書簡の中で、「告白」ということばが何度かあることにも気付かされました。

さて、私たちのためには、もろもろの天を通られた偉大な大祭司である神の子イエスがおられるのですから、私たちの信仰の告白を固く保とうではありませんか。（ヘブル4：14）

そういうわけですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちの告白する信仰の使徒であり、大祭司であるイエスのことを考えなさい。（ヘブル3：1）

約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。（ヘブル10：23）

私は、これまで、この「告白」ということばに目を留めたことがありませんでした。でも今回、「告白する」ということは「宣言する」ということであり、それがイエスを宣べ伝える宣教であることを初めて認識したのです。そして、この「告白」ということばによって、自分が、どこでクリスチャンであることを宣言するのを控えてきたか、どこで人々の目を恐れて、救いの福音を説明することをなおざりにしてきたかを示されました。

もちろん、のべつまくなしにキリストを宣言しなければならない、ということではありません。聖書では、無言のふるまいでキリストを証しすることも教えていますし、最も大切なことは、すべてをキリストの名によってなすことであり、それを通してキリストの栄光が現されることだからです。でも、今回、自分の中で聖霊の導きを阻んでいるものを、「告白」という表現によって明確に示されたのでした。

旅行では、毎朝、みことばと賛美と祈りをもって、一日を始めさせていただきました。天候も健康も守られ、皆、和気藹々と、見るもの聞くものすべてに感動を覚えた素晴らしい旅でした。私には、人間の素晴らしさを追い求めたルネッサンスの華麗な芸術作品でさえ、キリストの必要性を告白しているように見えました。そして、最終日の夜は、ミラノの内村宣教師が私達の宿泊したホテルで、メッセージをして下さいました。毎日のディナーと旅行中見聞きしたことを締めくくりにふさわしい「神の愛」についてのメッセージでした。神様が、旅行に参加されたおひとりおひとりの心に語りかけてくださったことを確信しています。

旅の詳細は、次回のニュースレターで報告させていただきますので、是非そちらもお読みください。

## ●パリ、4月2日賛美コンサート、3日礼拝賛美



イタリア旅行の2週間前にひいた風邪がなかなか治らず、旅行から戻るまで、しばらく声を出せない状態が続きました。そのような中で、「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。」（ゼカリヤ4：6）というみことばが与えられ、主の御霊が導いてくださるといふ神への信頼と平安とともに、パリに向かうことができました。

コンサートの日の朝、詩篇95篇を読みました。「感謝の歌をもって、御前に進み行き、賛美を歌をもって、主に喜び叫ぼう。」（詩篇95:2）

突然、主のみ前に出るのは感謝の捧げものをもってなのだ！ということに気がきました。

詩篇100編でもこう歌っています。「感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、はいれ。」（詩篇100:4）

主の大庭に入る門を見つけた喜びで、心が一杯になりました。

コンサートでは、ピアニストの山越さんが、最初に“Give Thanks”という賛美をピアノ・ソロで演奏してくださいました。ピアノのメロディーに合わせて、「感謝します、主よ。聖なるあなたよ。それは、あなたがひとり子、イエスを与えてくださったから。彼にあって、弱さが『私は強い』と言い、貧しさが『私は豊かだ』と言う。それが主が私たちのために十字架でなしてくださったみ業。感謝します、わが主よ。」と心で歌っているうちに、ステージに立ったときは、心が主への感謝で一杯で、主の栄光が見えるようでした。そして主は、全プログラムを導き、祝し、多くの方の心に語りかけてくださいました。

このコンサートのために、パリ教会の皆さんが愛のこもった献身的なご奉仕をしてくださいました。この場をお借りして、教会の皆さんと、会堂を使わせてくださったパリ韓国人バプテスト教会、ミラノから通訳のためにかけつけてくださったヨンランさん、そして祈り支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます！

---

### ♪お祈りください♪

- 4月15日（土） ハンブルク FEGC 教会にて、伝道を目的とした、「すしクッキング・セミナー」を開きます。主が、参加される方々に福音を語るチャンスを与えてくださいますように。
- 4月22～24日 ハンブルク FEGC 教会の修養会です。祝された時となりますように。
- 5月、ミラノの日本人集会でも賛美コンサートをさせていただくことになりました。良き伝道のチャンスとなりますようお祈りください。

5月7日（土） 賛美コンサート  
20：00～ 会場：Chiesa Evangelica Valdese  
Via Francesco Sforza 12/a

5月8日（日）礼拝における特別賛美  
会場：同上 礼拝時間：15：00より

問い合わせ／連絡先  
+39-02-719256（内村宣教師）

---

それでは、2週間後に、またこちらの近況を報告させていただきます。  
主の祝福と喜びが皆様とともにありますように！  
シャローム！

工藤篤子